

資料 3

青梅市内の地域公共交通について
皆さまの声をお聞かせ下さい。

本アンケートは、青梅市公共交通協議会が株式会社アルメックVPIに委託して実施しております。

青梅市公共交通協議会（※）は、青梅市都市整備部管理課を事務局として、宮口泉（青梅市自治会連合会会長）を会長におき、青梅市地域公共交通計画（仮称）の策定に向けた検討を進めております。

※青梅市公共交通協議会は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」第6条第1項にもとづき、地域公共交通計画の作成および実施に関し必要な協議を行うため、平成23（2011）年8月に組織された法定協議会です。

市内には、JR青梅線、路線バス（都営バス、西東京バス、西武バス）、タクシー（京王自動車）、御岳登山鉄道などの地域公共交通が整備され、市民のみならずまちを訪れる方にとって欠かせない移動手段となっています。

しかしながら、自家用車の普及、生産年齢人口（15～64歳）の減少、インターネットでの買物による外出機会の減少、新型コロナウイルス感染症の流行などにより公共交通の利用が減少し、交通事業者の経営は大変厳しい状況におかれています。

本アンケートは、このような状況にある地域公共交通について利用意向や問題点などをお聞きし、持続可能な公共交通の構築に向けて施策を展開する指針となる青梅市地域公共交通計画（仮称）の策定に反映するために行うものです。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。



青梅市公共交通協議会 会長 宮口 泉

■本調査について

- 本調査は、青梅市公共交通協議会が株式会社アルメックVPIに委託して実施しております。
- 本調査票は、令和4年1月1日現在、満18歳以上の市民の中から、3,000名の方々を無作為に抽出し、郵送でお送りしています。
- ご回答いただいた調査結果は、統計的に処理した集計結果のみを活用させていただくものであり、個々の回答が公表されることは一切ございません。

■別紙の設問票への回答のお願いについて

- お送りしたあて名のご本人がお答え下さい。ご家族で18歳以上の方が別におられる場合は、回答するところがありますので、ご協力ください。また、お一人での回答が難しい場合は、ご家族等とご相談のうえお答えください。
- 同封のアンケート調査票に直接ご記入ください。
- 回答には、番号に○印をつけていただくものと、ご記入いただくものとがございます。
- 「ほか」にあてはまる場合は、（ ）内にその内容を具体的にご記入ください。

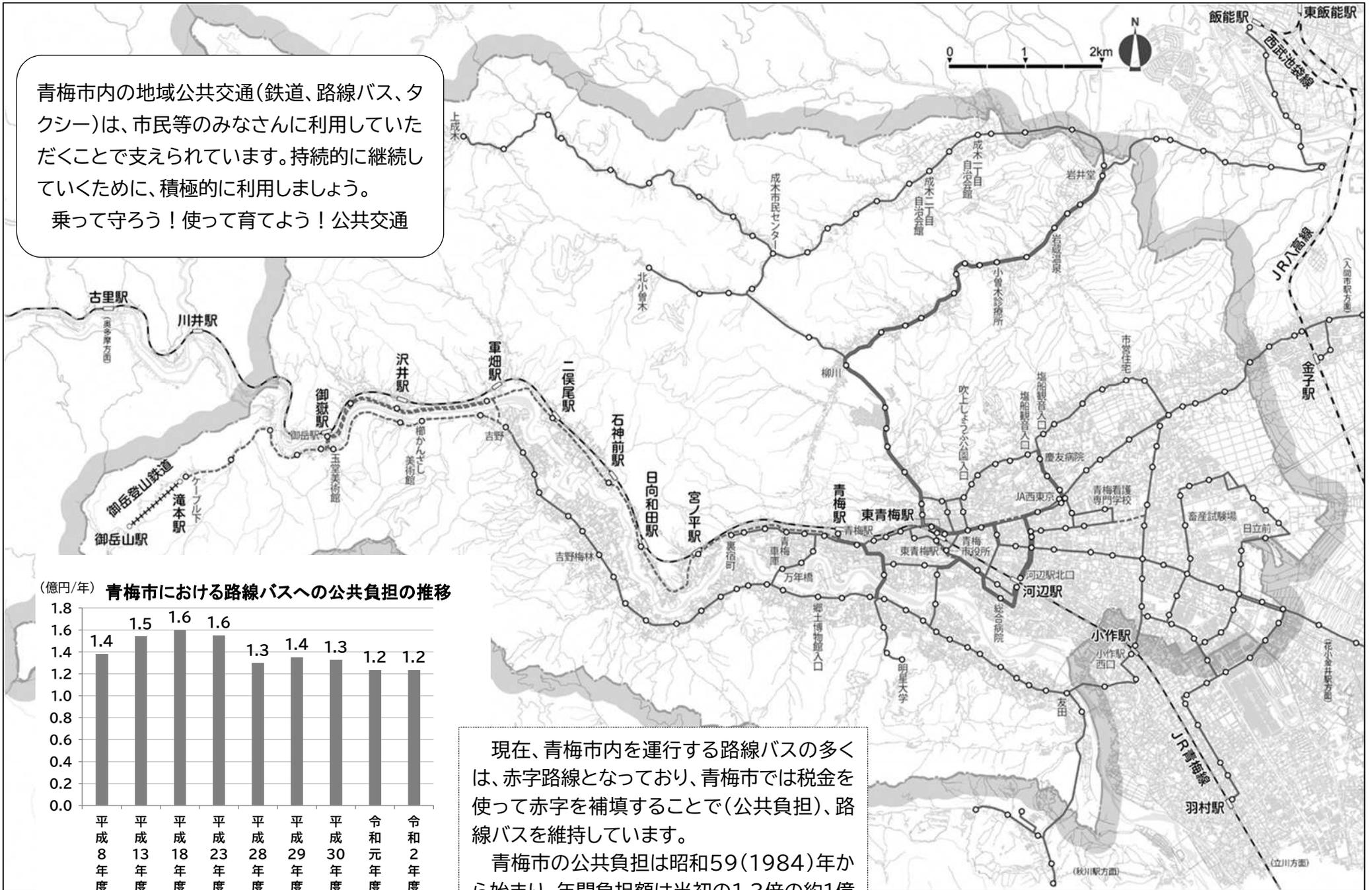
■投函のお願いについて

- 回答頂いた設問票のみを令和4年2月21日（月）までに同封の封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください。（切手は必要ありません。）

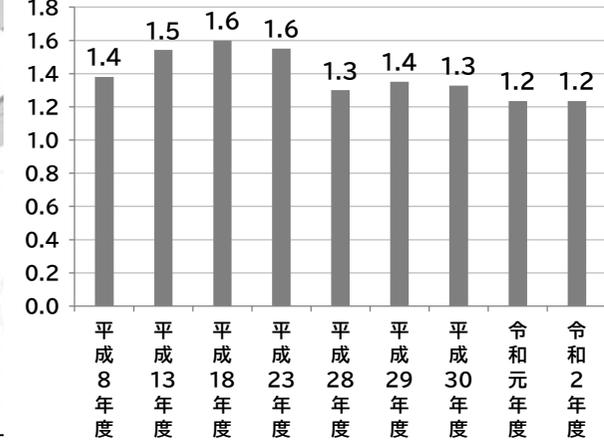
■回答および返送に関する問い合わせ先

- 株式会社アルメックVPI 青梅市河辺町アンケート調査係 電話03-3353-3203（直通）
- 青梅市 都市整備部 管理課 交通担当 電話0428-22-1111（内線2579）

青梅市内の地域公共交通(鉄道、路線バス、タクシー)は、市民等のみなさんに利用していただくことで支えられています。持続的に継続していくために、積極的に利用しましょう。
乗って守ろう！使って育てよう！公共交通



(億円/年) 青梅市における路線バスへの公共負担の推移



現在、青梅市内を運行する路線バスの多くは、赤字路線となっており、青梅市では税金を使って赤字を補填することで(公共負担)、路線バスを維持しています。
青梅市の公共負担は昭和59(1984)年から始まり、年間負担額は当初の1.3倍の約1億2千万円となっています。

青梅市の地域公共交通に関するアンケート

1 あなた（1人目の方）とあなたの世帯のもうひとつ方（2人目の方）についてうかがいます。

1. 住所と世帯構成を教えてください。

お住まいはどちらですか	青梅市 _____ (町丁名までお答えください。記入例：本町、長淵2丁目、梅郷6丁目、吹上 など)
世帯構成を教えてください	1) 一世代（一人暮らし） 2) 一世代（二人暮らし） 3) 二世帯（親と子など） 4) 三世帯（親と子と孫など） 5) ほか

2. ご自宅から道のりで1 km圏内にある施設は、以下のうちどれですか。（いくつでも）

1) スーパーや大型店	2) コンビニ	3) 商店会（商店街）
4) 病院	5) 医院・クリニック・診療所	6) 郵便局
7) 市役所・市役所出張所	8) 市民センター	9) 警察署・派出所
10) 図書館	11) 文化・学習施設	12) 公園
13) スポーツ施設	14) レクリエーション施設	

3. 性別、年齢、職業を教えてください。

1人目の方			2人目の方		
1) 女性	2) 男性	3) ほか	1) 女性	2) 男性	3) ほか
1) 18～19歳	2) 20～29歳	3) 30～39歳	1) 18～19歳	2) 20～29歳	3) 30～39歳
4) 40～49歳	5) 50～59歳	6) 60～69歳	4) 40～49歳	5) 50～59歳	6) 60～69歳
7) 70～74歳	8) 75歳以上		7) 70～74歳	8) 75歳以上	
1) 会社員等の勤め人	2) 自営業		1) 会社員等の勤め人	2) 自営業	
3) パート、アルバイト	4) 専業主婦（夫）		3) パート、アルバイト	4) 専業主婦（夫）	
5) 学生、生徒、児童	6) 無職	7) ほか	5) 学生、生徒、児童	6) 無職	7) ほか

4. 自動車の運転免許証は所持されていますか。（1つだけ）

1人目の方	2人目の方
1) 所持している	1) 所持している
2) 所持しているが、自主返納を考えている	2) 所持しているが、自主返納を考えている
3) すでに自主返納した	3) すでに自主返納した
4) 所持していない（免許更新せず失効した方を含む）	4) 所持していない（免許更新せず失効した方を含む）

5. 自動車やバイク、自転車など、普段自由に利用できるものは何ですか。（いくつでも）

1人目の方	2人目の方
1) 自分で運転する自動車を持っている	1) 自分で運転する自動車を持っている
2) 乗せてもらう自動車がある	2) 乗せてもらう自動車がある
3) バイクを持っている	3) バイクを持っている
4) 自転車を持っている	4) 自転車を持っている
5) 利用できる自動車やバイク、自転車は持っていない	5) 利用できる自動車やバイク、自転車は持っていない

6. 新型コロナウイルス感染症流行で公共交通の利用頻度は変わりましたか。(1つだけ)

1人目の方		2人目の方	
1) あまり変わらない	2) 増えた	1) あまり変わらない	2) 増えた
3) 1~2割ほど減った (ほんの少し減った)		3) 1~2割ほど減った (ほんの少し減った)	
4) 3~4割ほど減った	5) 5割以上減った	4) 3~4割ほど減った	5) 5割以上減った

2 日常生活における「外出時の移動」についてうかがいます。

1. 日常生活での「外出時の移動」で、困っていますか。

1人目の方	2人目の方
1) 困っている	1) 困っている
2) 困っていない⇒ 3 へ	2) 困っていない⇒ 3 へ

2. 「外出時の移動」で、困っている、不便を感じているのは、どのような場合ですか。移動内容をお答えください。

	1人目の方	2人目の方
出発地 (1つだけ)	1) 自宅 2) 自宅以外⇒地名・施設 _____	1) 自宅 2) 自宅以外⇒地名・施設 _____
目的地	地名・施設名等 _____	地名・施設名等 _____
移動目的 (1つだけ)	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) ほか	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) ほか
出発時刻(24時間表記で)	1) 出発時刻 _____ 時 _____ 分頃 2) 出発時刻が困る原因ではない	1) 出発時刻 _____ 時 _____ 分頃 2) 出発時刻が困る原因ではない
頻度 (1つだけ)	1) 週5日以上 2) 週3~4日 3) 週1~2日 4) 週1日未満	1) 週5日以上 2) 週3~4日 3) 週1~2日 4) 週1日未満

3. 「外出時の移動」で、困っている、不便を感じているのは、なぜですか。(いくつでも)

1人目の方	2人目の方
1) 交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変	1) 交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変
2) 交通手段がなく、送迎やタクシーが必要	2) 交通手段がなく、送迎やタクシーが必要
3) 路線バスはあるが、希望の時間に合わない	3) 路線バスはあるが、希望の時間に合わない
4) 自宅などの出発地から、利用するバス停が遠い	4) 自宅などの出発地から、利用するバス停が遠い
5) 施設などの目的地から、利用するバス停が遠い	5) 施設などの目的地から、利用するバス停が遠い
6) どこに行くにも坂があるため、大変	6) どこに行くにも坂があるため、大変
7) 近くに病院やスーパー・コンビニがない	7) 近くに病院やスーパー・コンビニがない
8) 身体に障がいがあり、路線バスを利用しづらい	8) 身体に障がいがあり、路線バスを利用しづらい
9) ほか ()	9) ほか ()

3 「路線バス」と「鉄道」利用についてうかがいます。

1. 自宅からの鉄道利用について教えてください。

	1人目の方	2人目の方
普段、鉄道を利用しますか	1) 利用する 2) 利用しない⇒2. へ	1) 利用する 2) 利用しない⇒2. へ
よく利用する最寄りの鉄道駅の名称を教えてください	最寄りの駅名： _____	最寄りの駅名： _____
そこまでの主な交通手段（1つだけ）	1) 徒歩 2) 自転車 3) バイク 4) 自家用車 5) 路線バス 6) タクシー・ほか	1) 徒歩 2) 自転車 3) バイク 4) 自家用車 5) 路線バス 6) タクシー・ほか
そこまでの所要時間	自宅からその駅まで、上記の交通手段で _____分程度	自宅からその駅まで、上記の交通手段で _____分程度
利用目的（1つだけ）	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) ほか	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) ほか
乗車時刻 (24時間表記で)	_____時 _____分頃	_____時 _____分頃
利用頻度（1つだけ）	1) 週5日以上 2) 週3～4日 3) 週1～2日 4) 週1日未満	1) 週5日以上 2) 週3～4日 3) 週1～2日 4) 週1日未満

2. 自宅からの路線バス利用について教えてください。

	1人目の方	2人目の方
普段、路線バスを利用しますか	1) 利用する 2) 利用しない⇒ 5 へ	1) 利用する 2) 利用しない⇒ 5 へ
最寄りのバス停の名称を教えてください	最寄りのバス停名： _____	最寄りのバス停名： _____
そこまで所要時間	徒歩で _____分、または 自転車で _____分程度	徒歩で _____分、または 自転車で _____分程度
最寄りのバス停から、主にどこのバス停まで利用されますか	行き先のバス停名： _____	行き先のバス停名： _____
利用目的（1つだけ）	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) ほか	1) 通勤 2) 通学 3) 買物 4) 病院 5) ほか
乗車時刻 (24時間表記で)	_____時 _____分頃	_____時 _____分頃
利用頻度（1つだけ）	1) 週5日以上 2) 週3～4日 3) 週1～2日 4) 週1日未満	1) 週5日以上 2) 週3～4日 3) 週1～2日 4) 週1日未満



4 この質問は、前問の「路線バスを利用する方」がお答えください。

1. 利用する路線バスの「サービス内容」について **①満足度** **②重要度** をうかがいます。

①満足度 →項目（1～16）ごとに、満足度（1～5）のあてはまるものに「○」をつけてください。（1つだけ）

②重要度 →項目（1～16）から路線バスを利用する際に重要だと思うものを、**2つ選んで**「○」をつけてください。

サービス内容		1人目の方					②重要度	2人目の方					②重要度
		①満足度						①満足度					
		1 満足	2 まあ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満							
例	時刻表や経路等の情報のわかりやすさ	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5	○	
1	時刻表や経路等の情報のわかりやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
2	運行経路、バスの行先	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
3	運行本数（平日）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
4	〃（休日）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
5	始発時刻（平日）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
6	〃（休日）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
7	終発時刻（平日）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
8	〃（休日）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
9	時刻表どおりの運行	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
10	運賃	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
11	バス停間隔（バス停位置）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
12	鉄道との乗り継ぎ（バス停）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
13	鉄道との乗り継ぎ（時間）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
14	バス停でのバス待ち環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
15	バス待ち環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
16	バス車両の乗降のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		

2. 青梅市内の「現在の路線バスのサービス」について、改善要望がありましたら具体的にご記入ください。

5 青梅市内の「路線バスの今後の維持・継続」についてうかがいます。世帯の意見としてお答えください。

1. あなたの世帯にとって、地域を運行する路線バスの必要性を、どのように思いますか。(いくつでも)

- 1) 家族の日常生活には、なくてはならない交通手段である
- 2) 普段は利用していないが、必要な時にないと困る
- 3) 現在は必要ないが、将来クルマを運転できなくなったときにないと困る
- 4) 自分の世帯には直接必要ないが、駅から遠い人やクルマのない人には必要である
- 5) あまり必要性を感じない
- 6) わからない

2. 現在、市内の一部の路線バスは、利用者の運賃収入だけでは、バス運行にかかる経費をまかなえない状況にあり、青梅市では路線バスの運行を維持するため、赤字への補助として、年間約1億2千万円を税金によって公共負担しています。※別紙のお願い状の裏面をご覧ください

① 青梅市の路線バスに関する公共負担の状況について、ご存じでしたか。(1つだけ)

- 1) 知らなかった
- 2) 路線バスの赤字は知っているが、赤字への補助は知らなかった
- 3) 知っていた

② 現在の、路線バスを維持するための公共負担について、どのように思いますか。(1つだけ)

- 1) さらに公共負担を増やし、路線バスを改善していくべき⇒3. へ
- 2) 公共負担をこのまま継続して、路線バスを維持していくべき⇒3. へ
- 3) 公共負担は必要だが、現在の補助額は高いと思うので、対策を講ずべき⇒③へ
- 4) 路線バスへの赤字補助は必要ない、廃止となってもやむを得ない⇒3. へ
- 5) わからない⇒③へ

③ 公共負担を減らすために、どのようにするべきだと思いますか。(1つだけ)

- 1) 運行本数を減らすなどして、運行経費を削減する
- 2) バス利用者を増やすなどして、運賃収入を増やす
- 3) 運賃を値上げして、運賃収入を増やす
- 4) 路線バスよりも、公共負担の小さい交通手段や方法に切り替える
- 5) ほか(_____)
- 6) わからない

3. 日常生活を送る上で、路線バスを利用するとしたら、最低でもどの程度の運行頻度が必要ですか。(1つだけ)

- 1) 最低限、朝、昼、夕に1本程度あればよい
- 2) 最低限、朝、昼、夕に2本ずつ程度あればよい
- 3) 最低でも1時間に1本程度は必要
- 4) 最低でも1時間に2本程度は必要
- 5) わからない



6 「JR青梅線」と青梅市内の「タクシー」についてうかがいます。

1. JR青梅線を利用しやすくするために必要なことは何ですか。(いくつでも)

1人目の方	2人目の方
1) 運行本数を増やす	1) 運行本数を増やす
2) 始発便をもっと早くする	2) 始発便をもっと早くする
3) 終発便をもっと遅くする	3) 終発便をもっと遅くする
4) 青梅特快を増便する	4) 青梅特快を増便する
5) 遅延しない	5) 遅延しない
6) 駅舎の改善 (_____ 駅の _____ の部分を改善)	6) 駅舎の改善 (_____ 駅の _____ の部分を改善)
7) ほか (_____)	7) ほか (_____)
8) 特になし (現状のままでよい)	8) 特になし (現状のままでよい)

2. タクシーを利用しやすくするために必要なことは何ですか。(いくつでも)

1人目の方	2人目の方
1) 予約しやすくする	1) 予約しやすくする
2) 車両の乗降が楽にできる	2) 車両の乗降が楽にできる
3) 車いすの乗降ができる	3) 車いすの乗降ができる
4) 定額運賃で乗車できる (※)	4) 定額運賃で乗車できる (※)
5) ほか (_____)	5) ほか (_____)
6) 特になし (現状のままでよい)	6) 特になし (現状のままでよい)

※高齢者や妊婦の方の通院や買い物、お子様の通塾・通学、行き来が頻繁な企業間の移動などにタクシーを利用したい場合、お客様に出発地と目的地を事前に登録していただき、定額タクシー券や回数券を購入して、利用できる制度

7 「市内の公共交通」全般についてうかがいます。

1. 鉄道、路線バス、タクシーの利用を活性化させるためには、市民の応援が欠かせません。そこで、以下のような市民参加型の公共交通利用促進策を考えていますが、実施された場合、主体的に関わっていただけるものがありますか。(いくつでも)

1) 公共交通の写真展 (駅や停留場、車両などの入った写真を募集)
2) 公共交通サポーター (施設の清掃・美化やバス停敷地を提供してくれる町会や企業、学校、有志などを募集)
3) 公共交通検定 (青梅市内の公共交通に関するご当地検定)
4) JR青梅線を活性化する応援隊 (青梅市と近隣自治体が連携しJR青梅線の利用を誘導)
5) ほか (_____)

2. 青梅市内の「今後の公共交通のあり方」に関して、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

本アンケートへご協力いただき、大変ありがとうございました。
 ここでいただいたご意見は、現在検討している地域公共交通計画の作成に活用させていただきます。
 令和4年2月21日(月)までに同封の封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください。切手は不要です。

